



デジタルアーカイブ推進コンソーシアム

**DAPCON**

# 2023年度活動報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

デジタルアーカイブ推進コンソーシアム

# 目次

1. 本コンソーシアムの概要	2
1.1. 会長からのご挨拶	2
1.2. デジタルアーカイブ推進コンソーシアムとは	2
1.3. 活動概要	3
1.4. 組織構成	3
1.4.1. 役員	3
1.4.2. 幹事会員	3
1.4.3. 一般会員	3
1.4.4. 事務局	4
2. 年間活動報告	4
2.1. 「2023 デジタルアーカイブ産業賞」の開催	4
2.1.1. 各部門賞の概要	4
2.1.2. 選考委員	5
2.1.3. 作業部会員	5
2.1.4. 「2023 デジタルアーカイブ産業賞」受賞者一覧	5
2.2. 総会・幹事会員ミーティング	7
2.2.1. 総会	7
2.2.2. 幹事会員ミーティング	8
2.3. 政策提言活動	8
2.4. デジタルアーカイブ学会 第8回研究大会 企画セッションでの幹事会員の登壇	9
2.5. アーカイブとそれに関連する分野のニュースや話題のメール配信	9
2.6. 年次会計報告	9
3. 来年度活動予定	9

## 1. 本コンソーシアムの概要

### 1.1. 会長からのご挨拶

デジタルアーカイブ推進コンソーシアム(略称DAPCON)は2017年4月に発足した。その背景を考えると、日本は技術立国として文化財のデジタル化技術の開発、データベース構築を世界に先駆けて行なってきたが、文化立国としての長期的視点が十分でなく、その取り組みは散発的で継続性に乏しいものであった。その結果、日本の知識基盤と産業基盤を支えるはずのデジタルアーカイブについても、個別の取り組みが多く、継続性に欠け連携が取れず世界に後れを取るようになった。

デジタルアーカイブというと博物館や図書館の収蔵庫に大事にしまわれた文化財の保存と公開という狭い分野の印象を持たれがちだが、本来は、それぞれの時代の最新の技術を用いて、最新の情報を記録し、次世代へ伝えることで、ビジネスや外交交渉を有利に進め、教育水準を高め、コミュニティの維持発展・文化アイデンティティの醸成を助けるものであり、未来への基盤づくりなのである。

産官学民一体となって日本のデジタルアーカイブ化を進める中で、本コンソーシアムは、その取り組みの継続性を担保するために必要不可欠な産業セクターの発展を生み出す力となり、様々な業態の関連企業が知恵を出し合い、デジタルアーカイブ産業としての底上げを図る場となるものである。そして、ようやく国全体としてのデジタルアーカイブへの取り組みが始まりつつある国会や政府、学界、様々なコンテンツホルダーとの緊密な連携の場となることを目指したい。

関連各界のご理解とご協力をお願い申し上げます。



〔青柳正規会長〕

### 1.2. デジタルアーカイブ推進コンソーシアムとは

デジタルアーカイブ推進コンソーシアム(略称 DAPCON)は、デジタルコンテンツの流通・利用とそれを支えるデジタルアーカイブの構築に関わる産業界諸団体が連携し、その促進と共通の課題解決に向けて取り組むために、2017年4月に発足した。

ビジネス、生活、学習スタイルの変化が著しい現代では、産業振興、学術分野の発展、教育の向上、日常生活の充実等、国民生活のあらゆる場面において、持続可能なデジタルアーカイブモデルの開発と運用が今後の発展のためには不可欠である。

また激甚化・頻発化する災害に伴う文化に関する情報の保存・継承、共有などの必要性や、自然環境の変化、その他社会的な課題に対しての産業界としての連携した対応の重要性は増している。こうした状況を受けて、DAPCONは産業界として、様々な業態の関連企業が知恵を出し合い、デジタルアーカイブの普及と発展、各種の課題解決に寄与するべく、活動している。

### 1.3. 活動概要

#### (1)活動

- ①参加企業同士の交流、情報交換の促進
- ②社会への発信の強化(一般向けの活動、政策提言等)
- ③デジタルアーカイブ産業賞表彰式、受賞者発表会の開催
- ④時勢や参加企業のニーズを捉えたテーマでの参加企業向けセミナーの開催

#### (2)広報・普及

- ①ニューズレターの発行(年2回)
- ②ホームページの更新
- ③年次活動報告書の発行
- ④その他、発信機能の強化

### 1.4. 組織構成

#### 1.4.1. 役員

会長	青柳 正規(多摩美術大学理事長)
副会長	宮本 聖二(立教大学教授)
顧問	中山 信弘(東京大学名誉教授)
顧問	原島 博(東京大学名誉教授)
顧問	御厨 貴(東京大学名誉教授)
事務局長	緒方 靖弘(寺田倉庫株式会社執行役員)
監事	丸善雄松堂株式会社
幹事	以下幹事会員(4社)

#### 1.4.2. 幹事会員

(50音順)

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
大日本印刷株式会社  
寺田倉庫株式会社  
TOPPAN株式会社

#### 1.4.3. 一般会員

(50音順)

株式会社ヴィアックス  
TRC-ADEAC株式会社  
株式会社野村総合研究所  
株式会社ブックスキャン

ポーク文化研究所  
丸善雄松堂株式会社  
株式会社モルフォAIソリューションズ

#### 1.4.4. 事務局

東京大学大学院情報学環講談社・メディアドゥ新しい本寄附講座

## 2. 年間活動報告

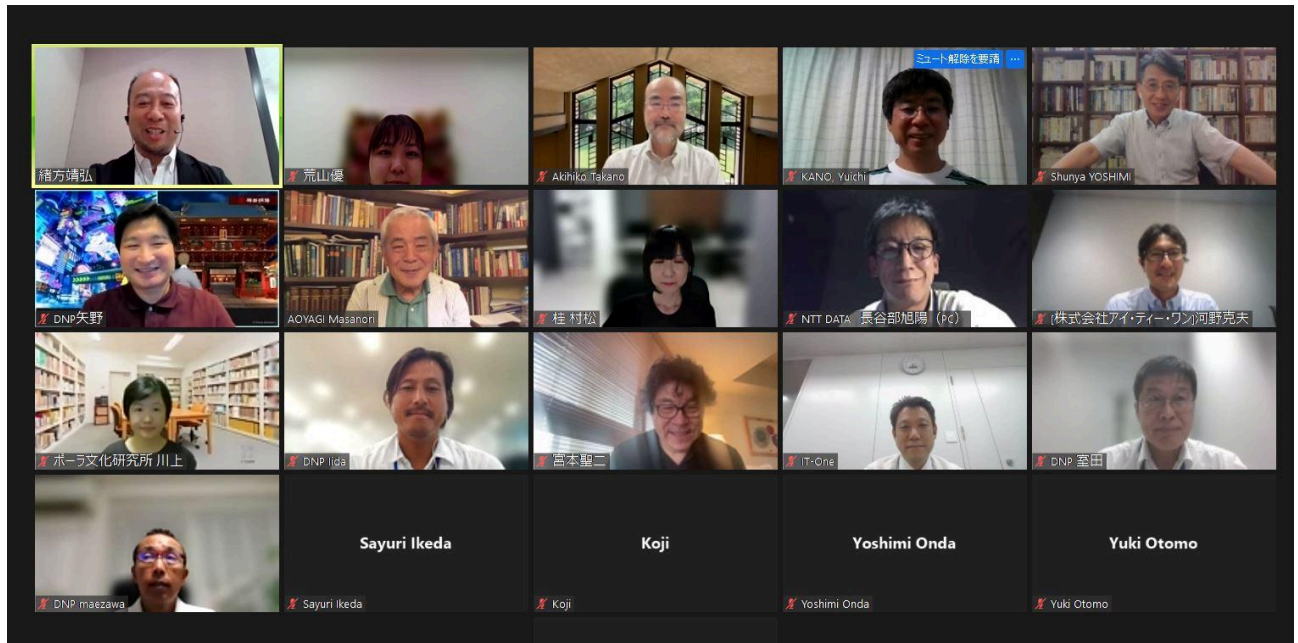
### 2.1. 「2023 デジタルアーカイブ産業賞」の開催

DAPCONでは、デジタルアーカイブに関して産業振興に寄与した個人や団体を称揚することを目的に、2019年より毎年、デジタルアーカイブ産業賞を開催している。「2023 デジタルアーカイブ産業賞」においては、ビジネス賞1件、技術賞1件、奨励賞3件を選出した。なお、貢献賞、功労賞については、受賞に該当する候補がなかった。

2023年8月25日に「2023 デジタルアーカイブ産業賞表彰式、テーマ発表会」をオンライン(Zoom)で開催した。選考委員を代表して吉見俊哉 氏(デジタルアーカイブ学会会長)からご挨拶をいただいた後、青柳 正規 会長による表彰状授与式、受賞者プレゼンテーションと高野 明彦氏(国立情報学研究所名誉教授)による講評を行った。

「2023 デジタルアーカイブ産業賞 表彰式、テーマ発表会」式次第

- 1 開会宣言:緒方 靖弘 事務局長(司会)
- 2 選考委員ご挨拶 吉見俊哉 氏(デジタルアーカイブ学会会長)
- 3 表彰状授与式 青柳 正規 会長
- 4 テーマ発表会(受賞者プレゼンテーション)1テーマ 発表8分
- 5 講評:高野 明彦 氏(国立情報学研究所名誉教授)
- 6 閉会宣言:緒方 事務局長



〔参加者集合写真〕

### 2.1.1. 各部門賞の概要

#### ①技術賞

前年度に発表または実施したデジタルアーカイブ産業に資する革新的な技術・手法・サービス・機材・システムを対象とする。

#### ②ビジネス賞

過去5年以内を対象としてデジタルアーカイブ産業の新しい分野・ビジネスモデルを開拓し、普及・活用等に優れた貢献をした個人・企業・機関・団体を対象とする。

#### ③奨励賞

今後更なる発展が期待されるデジタルアーカイブ産業の個人・企業・団体を対象とする。

### 2.1.2. 選考委員

(氏名50音順)

- 青柳 正規 選考委員長(デジタルアーカイブ推進コンソーシアム会長／多摩美術大学理事長)
- 塩原 誠志 内閣府知的財産戦略推進事務局参事官
- 高野 明彦 国立情報学研究所名誉教授
- 寺田 航平 寺田倉庫社長／経済同友会副代表幹事
- 吉見 俊哉 デジタルアーカイブ学会会長(國學院大学教授)

### 2.1.3. 作業部会員

(氏名50音順)

- 植山 秀治(TOPPAN株式会社)

岡本 真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)  
 神崎 正英(ゼノン・リミテッド・パートナーズ代表)  
 小林 慎太郎(株式会社野村総合研究所)  
 長谷部 旭陽(株式会社NTTデータ)  
 宮本 聖二(立教大学特任教授)  
 室田 秀樹(大日本印刷株式会社)  
 脇 昌弘(ネットアップ合同会社)

#### 2.1.4. 「2023 デジタルアーカイブ産業賞」受賞者一覧

賞	受賞者	選定理由
ビジネス賞	「IT-One Quest / IT-One Quest WEB」 株式会社アイ・ティー・ワン	デジタルアーカイブを実際に展示・公開するための具体的システムとして実績があり、ウェブ版の導入により広く手軽に活用できる可能性が広がる。 参考サイトURL: <a href="https://www.it-one.co.jp/service/quest_fascinate/">https://www.it-one.co.jp/service/quest_fascinate/</a>
技術賞	「文化財領域におけるCTスキャナー解析ソフト販売」 イメージラボ	文化財領域では新規分野である「CTスキャンデータの有効活用」を、ソフトウェア販売代理業に留まらず、具体的に支援しサポートする活動は、デジタルアーカイブの産業利用にも多く寄与する活動であると考え、同社の取り組みを推挙する。 参考URL: <a href="https://www.imagelabo.com/">https://www.imagelabo.com/</a>
奨励賞	「平面資料から立体資料まで広範囲なデジタル化と普及啓蒙の実践」 株式会社カロワークス	単にデジタル化した完成データを納品するだけでなく、納品後のデータ活用のコンサルティング業務や、デジタルアーカイブに関する勉強会・ワークショップなども実践し、デジタルアーカイブの普及啓蒙に寄与していることを評価し推挙する。 参考URL: <a href="http://www.calo-works.co.jp">http://www.calo-works.co.jp</a>
	「3Dデジタル生物標本」 九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター	利用しやすいライセンスでの提供により、医療分野や教育分野での応用のほか、VRを用いた展示での利用やアート作品の素材、またメタバースでも利用が可能であり、今後の展開が期待される。 参考URL: <a href="https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/researches/view/802/">https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/researches/view/802/</a>
	「バーチャル秋葉原」 大日本印刷株式会社／合同会社AKIBA観光協議会	最新技術によるまちづくりの好事例。バーチャル空間に、買い物ができる店舗やギャラリースペース、広告用サイネージを設け、コンテンツホルダーをはじめとする多様

		<p>な企業が、リアルのみ、オンラインのみに続く“第三のチャンネル”として情報発信や販促活動などに活用することが可能。</p> <p>参考URL：<a href="https://www.virtual-akihabara.com/">https://www.virtual-akihabara.com/</a></p>
--	--	--



## 2.2. 総会・幹事会員ミーティング

### 2.2.1. 総会

2023年8月25日に総会を実施した。議事要旨を以下に記載する。

#### ■出席社(敬称略)

幹事会員:株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、大日本印刷株式会社、寺田倉庫株式会社、TOPPAN株式会社、

一般会員:TRC-ADEAC株式会社、株式会社野村総合研究所、ポーラ文化研究所

#### ■式次第

- ・開会の挨拶(青柳正規会長)
- ・報告事項
  - 2022年度活動総括／会計報告
  - 2023年度活動計画
- ・決議事項
  - 役員の選出
  - 規約の改定
- ・新規会員の紹介・自社の取り組み

#### ■議事要旨

冒頭に青柳会長が会員各位に開会の挨拶を行った後、緒方事務局長より以下の報告を行った。

#### 1 2022年度活動総括および会計報告

スライドの「2022年度活動総括／会計報告」に沿って報告され、異議・質問等はなかった。

#### 2 2023年度活動計画

スライドの「2023年度活動計画」に沿って報告され、異議・質問等はなかった。

#### 3 決議事項(役員の選出)

昨年度の総会における規約の改定(第7条)にともなって、役員の選出と承認を行った。

#### 3 決議事項(規約の変更)

現状と合っていない箇所を変更し、より良い運営を行うことを目的に、規約変更のための決議を行った。決議の結果、第9条の変更を行うこととした。

### 2.2.2. 幹事会員ミーティング

DAPCONの活動における方向性を定め、その具体的な内容を検討すべく、2023年6月22日に幹事会員によるミーティングを開催し、議論を行なった。

### 2.3. 政策提言活動

2022年度から引き続き、幹事会員社を中心に策定した政策提言案を関連省庁や議員への説明や提言活動を行った。

・2023年9月16日 内閣府 白鳥 綱重参事官(塩原参事官から交替)へDAPCONの紹介、DAPCON産業賞の説明及び選考委員への就任依頼、政策提言についての説明を実施

(柳 与志夫東京大学特任教授、緒方事務局長)

・2024年1月17日 衆議院第2議員会館にて、尾崎 正直衆議院議員、山田 太郎参議院議員、赤松健 参議院議員へのデジタルアーカイブ勉強会に有識者として出席

(柳東京大学特任教授、福井 健策法制度部会長、黒橋 禎夫産業部会長、池貝 直人法制度副部会長、緒方事務局長)

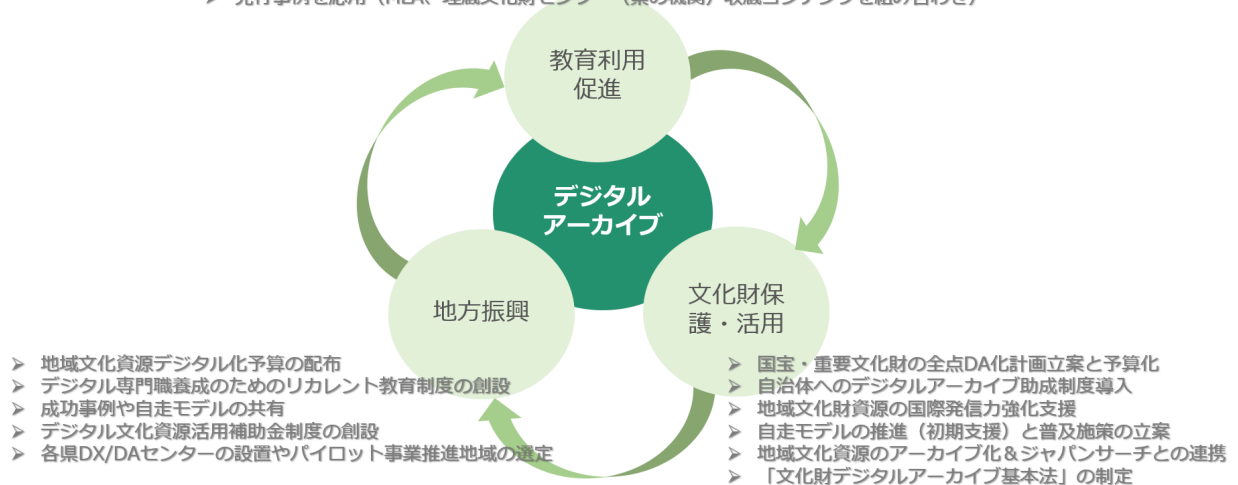
・2024年3月1日 第1回内閣府 知財事務局主催「デジタルアーカイブ戦略懇談会」

(議長:内閣府知的財産戦略推進事務局長／デジタルアーカイブ学会理事、緒方事務局長出席)

・2024年3月4日 衆議院第2議員会館にて、尾崎 正直衆議院議員、赤松 健参議院議員のデジタルアーカイブ勉強会に有識者として出席(出席者:柳東京大学特任教授、福井 健策法制度部会長、黒橋 禎夫産業部会長、池貝 直人法制度副部会長、緒方事務局)

## DAPCON（デジタルアーカイブ推進コンソーシアム）政策提言サマリ

- ▶ パイロット地域事業の実施（全国数か所のモデル事業）
- ▶ それらの事業を踏まえた拡大版デジタル教材活用モデルの開発と商品サービス化
- ▶ 先行事例を応用（MLA、埋蔵文化財センター（県の機関） 収蔵コンテンツを組み合わせ）



デジタルアーカイブ学会の政策提言やデジタルアーカイブ憲章などと歩調をあわせ、今後も提言を継続する。

### 2.4. デジタルアーカイブ学会 第8回研究大会 企画セッションでの幹事会員の登壇

2023年11月11日に石川県立音楽堂交流ホールで開催されたデジタルアーカイブ学会 第8回研究大会 企画セッション「石川県が拓く新しい情報社会～DAとAIが実現する次世代DX」において、DAPCON幹事会員より、室田 秀樹氏（大日本印刷株式会社）、植山 秀治氏（TOPPAN株式会社）、長谷部 旭陽氏（株式会社NTTデータ）、緒方 靖弘氏（寺田倉庫株式会社）が登壇した。

### 2.5. アーカイブとそれに関連する分野のニュースや話題のメール配信

DAPCON内の交流と相互理解の一環として、本年度より最近のアーカイブとそれに関連する分野のニュースや話題、各会員のプレスリリースなどを事務局でセレクトしてまとめ、会員向けに送付することとし、計8回実施した。

## 2.6. 年次会計報告

2023年度の収支報告書を掲載する。

(単位：円)

		予算	実績	差額・備考
取入	■昨年度繰越金	6,900,256	6,900,256	
	■年会費			
	見込予算	2,300,000		
	幹事(4社×40万円)		1,600,000	
	一般(6社×10万円)		600,000	
①	取入合計	9,200,256	9,100,256	△100,000
支出	■事務局運営費			
	雑費(コピー用紙など)	100,000	91,088	
	資料購入費	100,000	0	
	交通費・出張費	100,000	0	
	役員講演料	100,000	0	
	総会運営費	200,000	0	
	(小計1)	600,000	91,088	508,912
	■広報普及費			
	取材費(講演会等、4回分)	50,000	0	
	ニューズレターNo.21:編集費、印刷費	300,000	325,908	
	年次活動報告書作成費	200,000	183,590	
	ホームページ運営費	200,000	0	
	パンフレット:改訂費、印刷費	50,000	0	
	会員配布用書籍購入費	300,000	0	
	(小計2)	800,000	509,498	290,502
	■委員会等運営費			
	委員交通費	100,000	0	
	委員長謝礼金	200,000	0	
	外部有識者謝金	500,000	0	
	(小計3)	800,000	0	800,000
	■研修・交流事業費			
	会場費	300,000		
	謝礼金・講師料(講師交通費含)	500,000	120,000	
	セミナー合宿経費	450,000	0	
	交流事業費	200,000	94,050	
	(小計4)	1,450,000	214,050	1,235,950
	■協賛金			
	協賛金等	500,000	200,000	
	(小計5)	500,000	200,000	300,000
	■パイロット事業運営費	2,500,000		
	(小計6)	2,500,000	0	2,500,000
	■予備費	180,929	0	
	(小計7)	180,929	0	180,929
②	支出合計	6,830,929	1,014,636	5,816,293
①-②	次年度繰越金	0	8,085,620	8,085,620

## 3. 来年度活動予定

### (1)活動

- ①参加企業同士の交流、情報交換の促進
- ②社会への発信の強化(一般向けの活動、政策提言等)
- ③デジタルアーカイブ産業賞表彰式、受賞者発表会の開催
- ④時勢や参加企業のニーズを捉えたテーマでの参加企業向けセミナーの開催

### (2)広報・普及

- ①ニューズレターの発行
- ②ホームページの更新
- ③年次活動報告書の発行
- ④その他、発信機能の強化